

# 平成27年度 政策づくり塾 第3回活動報告

第3回（7月3日）は、窪田塾長からワークショップの進め方について講義いただき、その後実践形式でワークショップを行ないました。

## 講義「ワークショップの進め方と注意事項」

窪田 好男 塾長

### ◆ワークショップの基礎知識

- ・もともと共同作業場や工房を意味する英語。
- ・正しい考えを競走して考えるやり方から共創（共に創る、考える）やり方へ

### ◆ワークショップの分類

- ・個人の内面を表現したり、何かを創造する
- ・社会を変革する成果を出したり行動する
- ・個人の内面を深めたり、心と身体を癒す
- ・社会・自然・環境等のことを体験したり、学ぶ

### ◆注意点

- ・机の配置を工夫する、トーキングスティックを使うなど、できるだけ気楽に参加できるような雰囲気づくりをする。
- ・主催者は、楽しむだけで終われば忘れてしまうようなやり方はしない。
- ・参加者も積極的に参加する心構えが必要。

### ◆ワークショップの進め方

- ・情報共有→アイデアを広げる（他人の発言を

否定しない）→混沌（議論が行き詰まる時は、視点を変えたり、極論を出してみたりする）→収束（混沌の中に「ひらめき」の瞬間があるので、見逃さず結論をまとめる）

◆進行役（ファシリテーター）とタイムキーパーと記録係を決めて運営する



## グループディスカッション

前回に引き続き「地域の課題」についてグループディスカッションしました。

前回は課題を発表しあいましたが、今回はその課題について1～3個にしばり解決方法を探りました。

Aグループは、「商店街」について焦点があたり、「地域のにぎわいの中心としてのあり方」について意見が出ました。その中で知らないこと、「そうだ」と考えているだけで実際のところどうなのかを理解していないことが多く見受けられたので、東西商店街をもう一度自分の目で見えて歩くことになりました。



↑Aグループ  
窪田塾長のアドバイスを受けながらグループワークを進めました。

Bグループは、地方創生のテーマでもある「女性が働くまち、若者が住みたくなるまち」について意見が交わされました。時間内に議論がまとまりきらなかったため、次回までの宿題として、各人が「まちの課題とその解決策」について考え、次回の活動でより議論を深めていくことになりました。

**8月 9日（日）市民による政策評価会を開催！**  
「舞鶴版地方創生」の「総合戦略」の説明とその実現に向けた「市民提案事業」について実現性などを評価するもの。  
政策評価会の傍聴を第4回活動に位置付けています

**第5回活動**

**9月4日（金）18:30～20:30**  
西駅交流センター会議室

**第6回活動**

第6回では市長と懇談を行います。  
第5回は市長懇談に向け、意見の整理を行います。